

私たちの町議会



2023. 8.10

No. 252

めむろ議会だより

Memuro Town Assembly information



議会だよりの表紙は、無限の可能性をイメージ子どもを掲載しています。

議会モニター会議を開催

8月2日に開催した第1回議会モニター会議では、オンラインを併用して13名のモニターに参加いただき、「モニターの皆さんが日々の暮らしで気になること」をテーマにグループワークを実施しました。

グループ発表では各グループからさまざまな

意見が出され、議会としても取り組むべき課題が出るなど、議員だけでは気づかない視点での意見が出されました。

今後はいただいた意見をもとに2回目の会議で議論を深化させていきます。

Aグループ

- ・毎日ウォーキングしていると暗い
- ・商店街
- ・スポーツや遊ぶスペースが少ない
- ・新嵐山
- ・空き店舗
- ・まちなか再生ビジョン
- ・発達障がい

Bグループ

- ・ゴミステーション、ごみの分別
- ・若者の定住のための支援
- ・物価高騰のこと
- ・子どもの少年団、部活動
- ・新嵐山の動き

Cグループ

- ・要援護者が多い
- ・地域公共交通
- ・道路の損傷
- ・部活の指導員のなり手不足
- ・新嵐山
- ・町内会
- ・公衆浴場

Dグループ

- ・コロナの感染状況がわからなく不安
- ・学校の椅子が木製でタイツに引っかかるのでプラスチック製にして欲しい
- ・学費が高く親に迷惑をかけている
- ・家の前にドンキがあり、賑やかすぎるので夜の静けさが欲しい



臨時会議

7月28日に開催された臨時会議では、町から提案された補正予算1件、議会提案の会議案1件を原案のとおり可決しました。

町の経営方針急転！債務超過により2024で3セク清算。 嵐山調査特別委員会を設置

7/28

議会は去る7月28日に臨時会議を開催し、「新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会」の設置を全会一致で議決し、第1回調査特別委員会では、委員長に鈴木健充議員を、副委員長に正村紀美子議員を選任しました。

この委員会の設置は、6月9日以降わずか1か月の間に、「今後の新嵐山スカイパーク」をめぐる町の姿勢が急転したため、議会としてチェックすべき特に重要な事項と判断したことによるものです。

【調査特別委員会の調査の主な視点】

- 1 現行経営方針(財産の定義、事業の目的、成果と課題)
- 2 経営方針を変更する背景と理由(不可抗力と過失の区分)
- 3 町の資金支援計画(支援時期及び支援金額)
- 4 経営方針変更の手順とスケジュール

6/9

町は「先行投資の改革は正当」と答弁

第3回総務経済常任委員会(令和5年6月9日開催)における「めむろ新嵐山株式会社の経営状況」の調査では、第23期(令和5年度)の事業計画時点で、すでに約2,000万円の町からの支援がなければ収支が整わないことへの指摘が各委員から相次ぎました。

町はその原因を指定管理事業者(めむろ新嵐山株式会社)に対する「数年先を見据えた先行投資」と答弁するなど、改革の方向性に誤りはなく正当であることを主張していました。

7/12

「会社の資金繰りひっ迫、危機的状況」に急変

ところが、第3回全員協議会(令和5年7月12日開催)における町の「新嵐山スカイパークの今後について」という資料では、現状は、「会社経営の危機的状況」と認識した上で、その対応案として、下記内容が示されました。

- ①債務超過の要因は町の委託料と現場実績のかい離である。
- ②令和元年度～3年度のかい離について町が補助金を支出する。
- ③現在の指定管理事業者との委託契約を令和6年度まで1年延長。
(現契約：令和5年度末満了)。
- ④現行指定管理事業者は町が100%出資の第3セクターのため、令和6年度で会社を清算する。
- ⑤令和7年度以降は新たな経営体で運営を目指す。

補正
予算

一般会計予算総額は130億9,642万4千円に

総合体育館内部改修工事の入札の不落札に伴い、照明器具の原価に対する掛け率の見直しや一部工事の簡素化など再設計による追加額648万6千円を含む補正予算案は、予算決算特別委員会において審議し、原案のとおり可決すべきものと決定し、その後本会議で可決されました。

一般会計(7月28日提案)

項目	補正額	主な事業
総務費	1,000千円	寄附金管理基金管理事務
民生費	792千円	子どもセンター運営事業
教育費	329,694千円	総合体育館維持管理事業
予備費	△792千円	
合計	330,694千円	

一般質問

町政を問う

4人が登壇

6月定例会議は4人の議員が一般質問を行い、各議員が町政に対する課題や考えを質問しました。

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考えなどを町長などに求め、町が住民のための適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。

新型コロナウイルス感染対策の検証と今後の取組みについて

- ①ワクチンの供給状況や医療機関との連携等実施した対策とその評価は？
- ②「超過死亡」に関する考え方は？
- ③今後に向けた子どもたちに対するワクチン接種の基本的な考え方は？



菊池秀明議員

- ①総じて計画的に供給されたものと考えており、町内医療機関との会議を随時開催し、情報共有を図りながら接種体制を確保してきた結果、ワクチン接種希望者には、全て接種することができた。
- ②超過死亡については、さまざまな因子が絡んでおり、超過死亡の増加が認められたとしても、その問題点の有無を検証することは非常に難しいと考える。
- ③今後もワクチン接種について判断するための情報を適切・丁寧に提供し、納得して判断できるよう対応する。



手島町長

一般質問を終えて 菊池 秀明

今回は議員になって初めての定例会議で、一般質問となりました。その中で、「新型コロナウイルス感染症対策」の検証と今後の取組みについて改めて本町としての見解を伺い、非接種者への差別は許されぬこと、またワクチン摂取自体は任意であることを再確認し、ワクチンの情報について偏りがない情報を町民に伝え慎重に取り組んでいきたいことを提案しました。

3年間のコロナ禍を経て、国が推進してきた対策に対してある程度結果が出てきていますが、その中で健康被害などの国民のデメリットになるような事例も出てきており、町内外の方から今後の取組みに対して不安の声を聞いております。

コロナ対策に関しては、国の進める対策を町も推奨していくという町の姿勢は重々承知しますが、現実問題として町民の利益になるようなことが明確であれば町として独自の判断や対策をしていただきたいとの思いで今回の質問をさせていただきました。

選挙事務執行改善計画の進捗状況と今後の取組みについて

- ①投票環境の改善の取組実績と今後の計画は？
- ②投票意識向上のための教育委員会との連携による主権者教育の取組実績と今後の計画は？
- ③投票意識向上のための訪問事業や市街地商店会との連携の取組実績と今後の計画は？
- ④立候補に係る各種事務手続等の「DX推進」の基本的な考え方や今後の計画は？
- ⑤「選挙公報のあり方」について、基本的な考え方や今後の計画は？



堀切忠議員

- ①投票所の再編成を行い、期日前投票期間から投票日当日にかけてのバスの運行助成を行っている。今後は投票所の数や投票時間も協議する。
- ②児童会や生徒会の役員選挙を行う際、本物の投票箱・記載台の貸出しや選挙啓発出前講座を行っている。今後は次期計画策定の中で項目の見直しを検討する。
- ③取組実績はなく、今後は次期計画策定の中で項目の見直しが必要であると考えている。
- ④一連の様式の紙提供について、今後は希望者にはデータ提供を検討しているが、デジタルトランスフォーメーションまでのものは、今のところ実施する予定はない。
- ⑤選挙が無投票となったことから、条例に基づき選挙公報の発行を中止したものであり、今後も無投票の場合は、選挙公報の発行を中止したいと考えているが、委員会の中で協議する。



山上選挙管理委員会委員長

一般質問を終えて 堀切 忠

4月の町議選挙は、無投票となり、町民の皆さんの審判を受けることなく16の議席が確定しました。この間、町議選に留まらず首長選挙や道政、国政選挙も投票率が低下していく傾向にあります。政治に対する関心、主権者意識が低下していると感じております。子供の頃からの主権者教育のあり方を見直すことが必要ではないでしょうか？

また、土幌町のように「高齢者等が申請すれば、期日前投票が自宅前で行える」などの投票環境の改善も積極的に進めることが必要だと考えます。

「選挙公報」は、発行されませんが、各議員の公約は、「議会だより」等で町民の皆さんにお知らせしていくことが、「町民に開かれた議会」として取り組むべきと考えます。

住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉の充実について

- ①孤立死防止の取組の現状と見守り・安否確認の仕組みづくりの課題と展望は？
- ②「重層的支援体制」の整備に向けた検討及び進捗状況と今後の展望は？
- ③ひきこもり支援の実態と今後の支援体制の構築は？



渡辺洋一郎議員

- ①民生委員等による見守り活動等を実施しているが、民生委員の成り手不足に加え、近所付き合いの希薄化による見守り活動の停滞が課題であり、今後もこれまでの把握に向けた取組はしっかり行い、総合的な手法を用いて、少しでも連絡の取れない方をなくす状況に持っていきよう努力する。
- ②第4期芽室町総合保健医療福祉計画及び第5期芽室町地域福祉計画において検討することとしており、今年度は関係課、関係団体等と協議を行い、課題等の洗い出しや必要事項の整理を開始する。今後は令和6年度に実施計画を策定し、令和7年度からの運用開始を目指す。
- ③平成27年度からひきこもり支援部会を設置し、相談・対応の内容や支援経過の情報共有等を行っている。今後は引き続きさまざまな手法を検証・検討して総合的に掘り起こし等に向けて努力していく。



手島町長

一般質問を終えて 渡辺 洋一郎

日本の福祉制度・政策は、子ども・障がい者・高齢者といった対象者の属性や要介護・虐待・生活困窮といったリスクごとに制度を設け、現金・現物給付や専門的支援体制の構築を進めてきました。一方で、人びとのニーズに目を向ければ、例えば、社会的孤立や既存の制度の対象となりにくい方、8050問題やひきこもりなど、個人・世帯が複数の生活上の課題を抱えていることが増えてきています。今回は、芽室町にお住いの方が、だれ1人取り残されない体制づくりについて、いくつか質問しました。複合的な福祉課題への体制整備は、芽室町の福祉の課題は何かをあらためて整理する機会になりましたし、そのことが、地域で安心して暮らせるまちづくりにつながるものだと思います。

町民のみならず、これからも安心して住み続けられるために、社会福祉士としての強みを生かして引き続き私自身も取り組んでいきたいと思っております。

障がい児の放課後の居場所と移動支援策について

- ①障がい等の支援や配慮が必要な子どもの居場所の選択機会の保障について、今後の事業展開は？
- ②「移動支援」に係る課題認識と今後の展望は？



立川美穂議員

- ①障がい等の有無によらず、希望される児童には等しく利用選択の機会を保障する。
- ②サービス利用に関わるニーズが複雑・多様化している現状において、どのように対応すべきか判断するのが課題である。今後の展望としては、障がい者・障がい児の社会参加のための外出が円滑に行え、特に児童においては相談支援担当者等を核とした相談支援の中で、家庭状況や意向等を十分確認した上、児童及び保護者が納得してサービスを選択できるよう対応する。



手島町長

一般質問を終えて 立川 美穂

子どもたちが安全に過ごせる放課後の居場所があることで、保護者の皆さんは安心して地域社会の礎となる社会経済活動に取り組みることができます。

本町には、町や地域、民間が運営する子どもセンターや児童館、放課後の居場所の他に、療育を目的とした放課後等デイサービス等、それぞれのニーズに応じた放課後の居場所があり、障がいの有無に関わらず、子どもや保護者はその選択を行うことができるというのが町の基本姿勢です。

しかしながら、自力移動が困難な子どもは送迎サービスの有る事業者を選ぶか、保護者が送迎を担っているのが現状です。障がい児が使える福祉サービスや、ファミリーサポートを使うことはできませんが、その費用負担の課題などは今後も検討が必要テーマであると考えています。

北海道町村議会議員研修会(札幌市)

○日時：7月4日(火)13時00分～16時30分

4年ぶりの参加となる北海道町村議会議員研修会に参加しました。第一部では「ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長 五百旗頭(いおきべ) 真氏より「ウクライナ危機後の世界と日本」と題した講演を、第二部には政治ジャーナリスト田崎史郎氏による「日本政治の舞台裏」について、世界情勢から見た日本の立ち位置や、今後の政局等について両氏の見解を伺いました。

開会に先立ち、全道町村議会議長会会長渡部氏(厚真町議会議長)からは「二元代表制の一翼として、議論を尽くし、信頼される議会となるようお互いに切磋琢磨しながら尽力していきましょう」との挨拶があり、住民に一番身近な町村議会議員としての責務をあらためて再確認しました。

第三セクターの現在、将来の経営状況について、適正に把握、判断をする

○日時：7月5日(水)12時15分～15時

○演題：「第三セクターによる指定管理事業における展望と課題」～議会・議員がチェックする視点～

○講師：宇野二朗氏(北海道大学公共政策大学院教授)



議会は過去より「新嵐山スカイパーク」の指定管理者である第三セクターの実態、経営状況等を調査、審査してきましたが、役員(取締役)が概ね町の理事者、職員であるにも関わらず、会社ごととして思うように調査、回答を得られなかったこともあり、十分なチェックができなく、今日に至っては第三セクターが債務超過の実態にあり、改めて議会、議員のチェックする視点を学び、現状を判断し取り進めるべきか学びました。

講義では現況の第三セクターの背景、新設の減少、経営破綻、地方自治体の債務補填、さらにはこれらによる自治体における財政悪化、事後的な補填による責任分担のリスク、損出補填をするなど過度に関与すべきでないなど、また、議会の調査、チェックするポイントは、自治体財政に痛みを与えていないか、今後の在り方として、PPP/PFI事業の導入など学び、有意義な研修でした。

7月の委員会活動報告

(委員が執筆しています!)

総務経済常任委員会 第5回 7月11日(火) 第6回 7月28日(金)

- 株式会社モンベルとの包括連携協定について
防災テントの貸出や自然体験事業などアウトドアの知識を活かした地域活性化に取り組んでいくとの説明がありました。
- 中心市街地住宅借上げ制度認定事業者の決定について
令和5年度着工戸数は12戸で当初計画よりも僅少であり、「今後民間アパート借上等も視野に入れ検討する」との答弁がありました。
- 合同納骨塚アンケート調査実施について
8月に町民意向調査を実施し、回答結果によっては次年度予算に盛り込むとの報告がありました。
- 公営住宅の明渡し及び滞納家賃の支払いを求める訴えの提起について
担当課より状況説明があり、その内容について調査を行いました。
- まちなか再生ビジョン案について
20年後のまちなかの理想像を描いたビジョンについて説明があり、その内容について調査を行いました。

厚生文教常任委員会 第5回 7月24日(月)

●第7期芽室町障がい者福祉計画・第3期芽室町障がい児童福祉計画策定について

次期計画策定に向けてのスケジュール及びアンケート内容の説明がありました。委員からアンケート対象の拡大を求める質疑があり、今回の対象者は「障害」という分野に関わりの深い方を対象としアンケートの回収率を上げていきたいとの答弁がありました。その他通勤や移動支援など新たな支援策についての質疑が行われました。



●第5期芽室町健康づくり計画について

同じく次期計画に向けてのスケジュール及びアンケート内容の説明がありました。委員からはアンケート内容や対象者に関する質疑が行われアンケート内容には町独自の設問も含まれる事や対象者の範囲を限定する事で課題抽出を的確に行うことに軸足をおいているとの答弁がありました。

●令和5年度厚生文教常任委員会の抽出事業について

今年度より委員会が集中して調査研究する事務事業について決定しました。「小中一貫教育を含めた将来的な教育環境の整備」をテーマに少子化が進む中での子供達の学びの環境づくりをどう進めるのかを研究します。一年間の出生者数が百人を下回ってきている芽室町の「今、何が課題か？」を探りあて最適な環境づくりを目指します。

審議した議案と各議員の賛否 7月臨時会議

※梶澤幸治議長は採決に加わりません。

種類	議案名	議員名																審査結果	議決日
		菊池 秀明	伊藤 稔	木村 淳彦	小笠原 等	中田 智恵子	橋本 和仁	堀切 忠	渡辺 洋一郎	立川 美穂	早苗 豊	中村 和宏	正村 紀美子	常通 直人	西尾 一則	鈴木 健充	梶澤 幸治		
議案	令和5年度芽室町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	7/28
会議案	新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会設置の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決		

議会白書

令和5年7月 延べ6時間14分活動しました！

会議名		日時 会議時間	休憩 時間	実質 時間	議 件	傍聴 人数	ネット 中継 アクセス数	
本 会 議	7月臨時会議	7月28日 9:30～10:16	0:37	0:59	1 令和5年度芽室町一般会計補正予算(第4号) 2 新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会 設置の件	2	(118)	
全 員 協 議 会	第3回	7月12日 13:30～13:59	0:05	0:24	1 新嵐山スカイパークの今後のあり方について	1	45	
	第4回	7月28日 10:35～10:59	0:00	0:24	1 議会サポーター委嘱の考え方について 2 令和4年度議会費決算について 他	0	(118)	
常 委 員 任 会	総務 経済	第5回	7月11日 9:30～11:23	0:35	1:18	1 株式会社モンベルとの包括連携協定について 2 中心市街地住宅借上げ制度認定事業者の決定 について 他	1	42
		第6回	7月28日 13:30～14:38	0:11	0:57	1 まちなか再生ビジョン案について	3	(118)
	厚生 文教	第5回	7月24日 10:30～11:53	0:02	1:21	1 第7期芽室町障がい者福祉計画・第3期芽室 町障がい児福祉計画策定について 2 第5期芽室町健康づくり計画について 他	2	34
議 会 運 営 委 員 会	第6回	7月3日 9:30～10:23	0:14	0:39	1 議会だより7月号の編集について 2 議会だより8月号の編集企画について 他	0	3	
	第7回	7月20日 9:30～10:15	0:03	0:42	1 議会サポーター委嘱の考え方について 2 令和4年度議会費決算について 他	0	8	
予 算 決 算 特 別 委 員 会	第5回	7月28日 9:36～9:48	0:00	0:12	1 令和5年度芽室町一般会計補正予算の審査について	2	(118)	
新嵐山スカイパーク経営 改革調査特別委員会	第1回	7月28日 10:00～10:05	0:00	0:05	1 委員長の選出について 2 臨時委員長退任 他	0	※	
議 会 広 報 編 集 企 画 会 議	第3回	7月20日 11:24～11:27	0:00	0:03	1 議会だより8月号の校正について 2 議会だより9月号の編集企画について			
合 計		8:01	1:47	6:14		計11	平均67.1	

ネット中継アクセス数 () 同一日に複数の会議が中継された場合は各会議の合計アクセス数を表示
※ インターネット中継を実施しなかった会議



表紙写真
のの子ちゃんと将輔(そうすけ)君は姉弟で、自宅のトラクターに乗ってポーズを決めた瞬間をおさめたものです。

9月定例会議の御案内

1日	9:30～	初 日
21日	9:30～	一般質問
22日	9:30～	一般質問
26日	9:30～	最 終 日

議会傍聴で
芽室の未来が見える！



インターネット中継は
コチラから視聴できます。
(過去の録画もあります)

団体や多数で傍聴を希望される方は、資料準備のため事前に議会事務局までご連絡ください。(0155-62-9731)

後編 編集集

■コロナ禍で中止していたイベントが4年ぶりに復活するなど、明るいニュースも多い今年のお盆休み。久しぶりに笑顔で会える嬉しさを満喫するためにも、日頃の体調管理と場面に応じた周りの方への気遣いは心掛けたいと思います。

正村紀美子

■今年も例年どおり異常気象(異常じゃなく通常か)で、日本全国どこにでも線状降水帯が発生し、大きな被害をもたらしています。これから台風上陸の季節がはじまり、平成28年本町に大きな災害があった事を思い出し、あらためて町民の安全、安心を考えて参ります。

木村淳彦

■初めての定例会議と一般質問を終えました。そんな中で先日GB大会に参加し町発祥のスポーツの魅力をj知ることので改めて芽室町を知ることができました。こういった機会でも町との関わりを深めた感じがしつphoto。

菊池秀明

LINE@
友だちになってね!!
@memuro-gikai2014



芽室町議会の概要を紹介
スマートフォンサイト

▶ スマートフォンサイトを見る



公式 Twitter アカウント
@memuro_gikai



公式 facebook ページ
http://www.facebook.com/memuro.gikai

随時
更新中